

事業所名 みらい

支援プログラム

作成日：令和8年 3月 2日

事業所理念		一人ひとりの個性を尊重し、成長を支援し、それを通して家族支援を行うことで、地域の発展に貢献していく		
支援方針		保護者の要望を深く探求し、利用者自身の困りごとに関係機関と連携して取り組む 地域や社会との積極的な交流をはかるとともに、療育の充実につなげる		
営業時間		9 時 00 分 から 18 時 00 分	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容		
		児童発達支援	放課後等デイサービス	
本人支援	健康・生活	意思表示が困難である子どもの発達の過程・特性等に配慮し、小さな心身の異変に気付けるように細かい観察を行う。 また、生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活環境の工夫を行いながら、状況に応じた適切な支援を行う。	学習・自由時間・活動時間のメリハリをつけ、基本的な生活のリズムを整えるとともに、それぞれの子どもの適した身体的・精神的・社会的訓練を行うことで、生活に必要なスキルを身につけていく。	
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持を習慣づける。 また、保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用できるように上肢・下肢・体幹・手先指先の運動などを取り入れる。	
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用し、認知能力の発達を促す支援を行う。 習得した情報を過去に習得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげる事ができるよう、支援を行う。	空間・時間・数等の概念の形成を図り、それを活動に活かしながら、自分に入ってくる情報を適切に処理し行動につなげる、という認知過程の発達を支援する。	

本人支援	言語・コミュニケーション	障がいの種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、カード等を用いて意思のやり取りが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基本的な能力を身につけることができるよう支援する。	ルールや約束を守り、コミュニケーション力を高めるための活動を考える。また、環境の理解と意思の伝達ができるよう、言語を受容し、表出する支援を行う。
	人間関係・社会性	遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊び・また、一人遊びの状態から並行あそび・大人が介して行う連合的な遊び・役割分担したりルールを守って遊んだりする共同あそびを通して、徐々に社会性の発展を支援する。	集団生活を通して、ルールや約束を学び、活動に楽しく参加することができるように支援する。 また、自分のできる事、出来ない事を理解するとともに、気持ちや感情の調整ができるように支援する。
家族支援	本人の意思を大切にしながら、家族の思いもくんで、毎日を不安なく過ごせるようにする。 自由遊びや活動時の様子を伝え、少しでも気になる事があれば、家庭での様子も聞き、常に情報共有できる状態にする。		
移行支援	日常的な連携に加え、移行のために必要な情報を集め、共有を図る。 必要に応じて保育園・幼稚園・学校訪問、または関係機関で連携を図り、日々の様子を共有する。		
地域支援・地域連携	関係機関で役割分担を行うとともに、それぞれの機関で得られた情報を共有する。また、得られた情報を活用すべく、具体策を提案する。 関係機関で定期的に情報収集、役割分担について協議する。情報に基づき、関わり方について助言を行う。		
職員の質の向上	経験や職種に応じた研修の参加を促し、スキルアップの機会を作っていく。		
主な行事等	地域社会の一員として活動に参加できるよう、地域のイベントや活動の機会を提供する。 また、季節ごとの行事を活動に取り入れる。		
身体拘束	利用者本人、他の利用者等の生命または身体を保護するため、やむを得ず身体拘束を行う場合あり。 ①切迫性 ②非代替性 ③一時性 この要件をすべて満たし、組織的かつ慎重に行うこととする。		

児童発達支援

健康・生活

意思表示が困難であるこどもの発達の過程・特性等に配慮し、小さな心身の異変に気付けるように細かい観察を行う。また、生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活環境の工夫を行いながら、状況に応じた適切な支援を行う。

構造化を意識した掲示物、子どもへの指示
時間に応じた行動の切り替え
トイレトレーニング

運動・感覚

日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。

日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。

体操やダンス、スポーツなどの運動療育
視覚や聴覚、触覚を刺激するゲームやクイズ
感覚過敏な子に配慮した環境設定

認知・行動

視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用し、認知機能の発達を促す支援を行う。

取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげる事ができるよう、支援を行う。

ブロックなど、立体の造形物を使った
創作活動
音楽やリズムを使って五感を刺激する
活動
ヴィジントレーニング

言語・ コミュニケーション

障がいの種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、カード等を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基本的な能力を身につけることができるよう支援する。

絵や絵カードを使った視覚支援
絵カードを使った言語訓練
視覚的に具体的な表示

人間関係・ 社会性

遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。

感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊び・見立て遊びやつもり遊び・ごっこ遊び等の象徴遊び、また、一人遊びの状態から並行遊び・大人が介して行う連合的な遊び・役割分担したりルールを守って遊んだりする共同遊びを通して、徐々に社会性の発展を支援する。

アタッチメント形成
外出レクリエーション
ごっこ遊びや模擬店



放課後等デイサービス

健康・生活

- ・健康状態の維持
- ・生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的な生活スキルの獲得

学習・自由時間・活動時間のメリハリをつけ、基本的な生活のリズムを整えるとともに、それぞれの子どもの適した身体的・精神的・社会的訓練を行うことで、生活に必要なスキルを身につけていく。

紐結び練習、月の活動予定表掲示
一日の流れ・時間配分の掲示

運動・感覚

- ・姿勢と運動・動作の向上
- ・姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- ・保有する感覚の総合的な活用

日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持を習慣づける。

また、保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用できるように上肢・下肢・体幹・手先指先の運動などを取り入れる

ハサミの練習 お箸の練習
感覚遊び

認知・行動

- ・認知の発達と行動の習得
- ・空間・時間・数等の概念形成の習得
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

空間・時間・数等の概念の形成を図り、それを活動に活かしながら自分に入ってくる情報を適切に処理し行動につなげる、という認知過程の発達を支援。

ビジョントレーニング パズル
タングラム ジオボード

言語・コミュニケーション

- ・言語の形成と活用
- ・言語の受容及び表出
- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・コミュニケーション手段の選択と活用

ルールや約束を守り、コミュニケーション力を高めるための活動を考える。また、環境の理解と意思の伝達ができるよう、言語を受容し、表出する支援を行う。

言葉遊び オノマトペ
ビンゴゲーム

人間関係・社会性

- ・他者とのかかわり（人間関係）の形成
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間づくりと集団への参加

集団生活を通して、ルールや約束を学び、活動に楽しく参加することができるように支援する。また、自分のできる事、できない事を理解するとともに、気持ちや感情の調整ができるように支援する。

SST 社会科見学
買い物体験

